

…第6回審議会の審議の内容を踏まえての前文(案)を以下に示します。第2・第3段落にある「協働」についてがペンディング事項であります。
 事前に本資料を送付しておりますが、本件について委員より頂戴した意見等を備考欄に追記します。

段落	文 面	備考
1	<p>わたしたちのまち松田町は、世界遺産である富士山を望み、丹沢山系を源にする酒匂川などの清流と豊かな緑に恵まれ、古来より交通の中心として繁栄をしてきた町です。先人たちが守り続けてきた豊かな自然、培われてきた文化・芸能、育ててきた伝統や産業を後世に引き継いでいかなければなりません。</p>	<p>第1段落については、委員全員により左記の文面で内容了承</p> <p>委員：「丹沢山系を源にする酒匂川」</p> <p>⇒「富士山と丹沢山系を源氏にする」に訂正</p> <p>理由 ア ウィキペディアで「富士山東麓と丹沢山西武を源流とする」となっている。</p> <p>イ 富士山の噴火が言われ始め、その時意識せざるを得ない。</p> <p>ウ 雇用の増大が無理な松田と、企業を誘致したいが人手が足りない静岡県小山町とのことを考え、交通の便が良い松田は小山町との連携の必要が生じる。</p>
2	<p>近年の少子高齢社会の到来や社会・経済環境の変化による町の人口減少や町の活力の低下は、わたしたちが改めてまちづくりのあり方について考えなおす契機となりました。これらの課題を解決していくためには、わたしたち一人ひとりが主権者であり、まちづくりの主体であることを認識し、住民、議会、行政が <u>(ひとつ・連携・協働・力をあわせて・共働)</u> ※になっ</p>	<p>委員：「ひとつ」を選択</p> <p>委員：ウィキペディアによれば協働とは、「日本の地方自治の分野で不可欠なものとして唱えられている概念の一つである。」とあり、これを問題にするのはおかしい。しかし、2・3段落の両方に入れる必要が無いので、2では「一体となって」位で良くはないか。</p> <p>委員：「住民、議会、行政が <u>共に取り組み</u>、これらの～」を提案</p>

	<p>て、これからのまちづくりを、みんなで考え、みんなで作ってあげていく必要があります。</p> <p>※印は検討項目</p>	<p>委員：「<u>相互に連携して</u> or <u>お互いに補いあい、支えあって</u>」を提案</p>
3	<p>わたしたちは、松田町町民憲章（平成元年5月15日制定）が掲げる、うるおいのあるまち、文化の香り高いまち、活力にあふれるまち、平和に満ちた心のかよいあうまち、愛の輪が広がるまちをつくることを目指し、自らの意思と責任に基づいて、次世代を担う子供たちを育み、未来に向かって知恵と力を出し合い、みんなで<u>協働(ひとつ・連携・力をあわせて・共働)</u>※のまちづくりを進めていきます。そして、わたしたちは、誰もが安心して安全に暮らすことができ、住んでいて幸せと感じるまち、誇りの持てるまち、おもてなしのころをもったまちづくりを進めていきます。そのため、松田町のまちづくりの最高規範として、この松田町自治基本条例(仮称)を制定します。</p> <p>※印は検討項目</p>	<p>委員：「<u>協働</u>」を選択</p> <p>委員：「みんなで協働のまちづくり」の協働は、その言葉自体が、みんなが含まれているので「みんな」を取る(なお協働の言葉は条文でも出てくると思う。)</p> <p>委員：それぞれの立場で一層緊密な<u>連携</u>をもって～ 「みんなで<u>力をあわせて</u>まちづくりを～」を提案</p> <p>委員：「<u>協働</u>」ですんなり読めるので、「<u>協働のまちづくり～</u>」でいいのでは？ ⇒「協働」の松田町での定義をすればよいのではないかな。 「そのため、」はちょっと違和感があるため、 ⇒「<u>その実現のために(の)</u>」とか「<u>そのために(も)</u>」を提案 「この」についても同様に ⇒「ここに、松田町自治基本条例を制定します。」or(シンプルに) 「この条例を制定します。」を提案。</p>

委員 ● 「共同」と「協同」と「協働」の違い

「協働」とは、協力して働くという意味。協同よりも協働の方が、より一緒に行動するという意味合いが強い。

● 「協働」によるまちづくり

協働の3原則 「自分でできることは自分でする」＝自助 「地域や団体は、近隣住民のお互いの力を結集して助け合う」＝共助

「自助、共助でできない、町全体にかかわることを行政が行う」＝公助

● 「協働」、「協働する」の同義語、類語 ⇒ 「協働」とは類語で連携も含まれる。